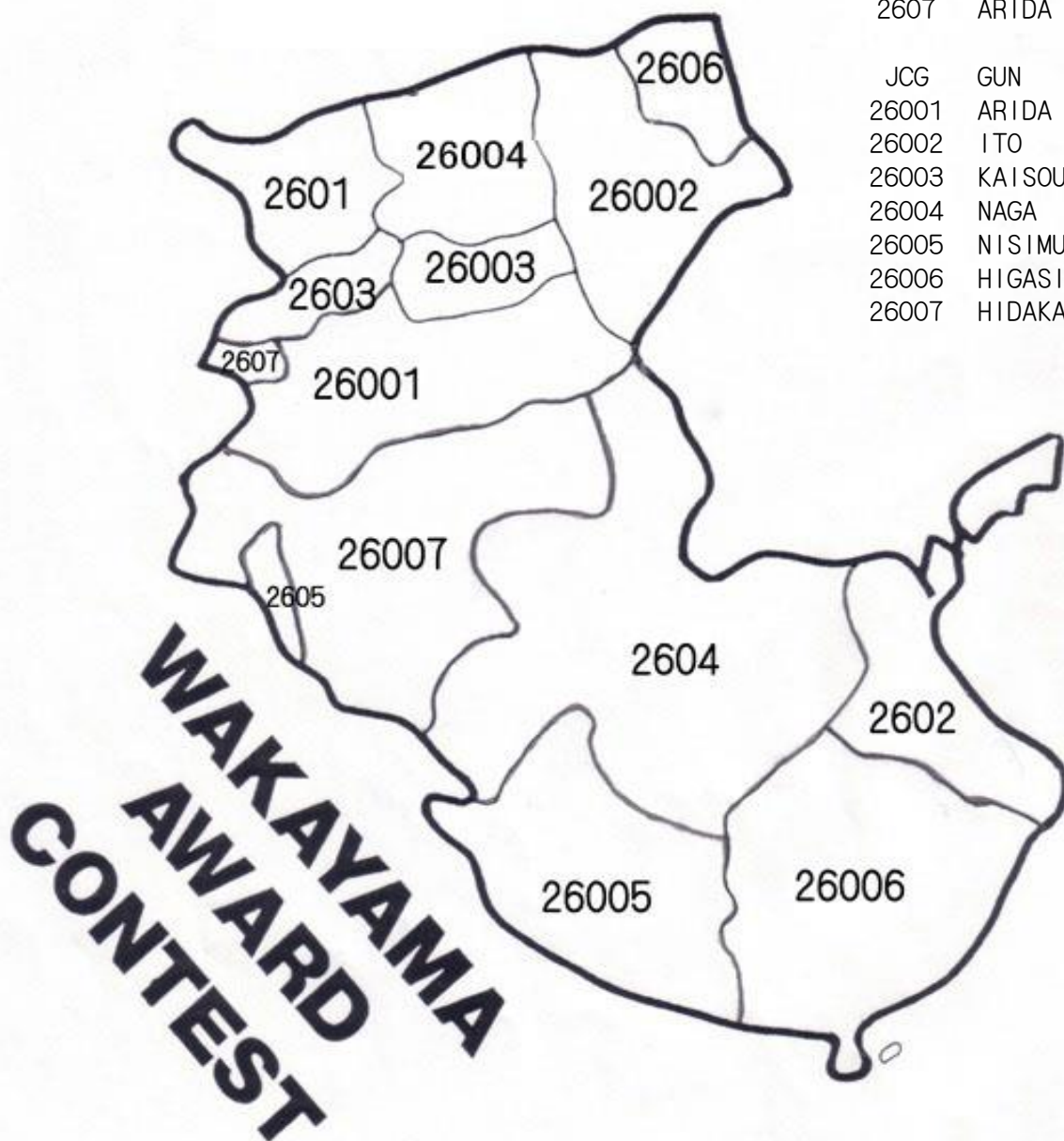


和歌山県支部報

2003. 2

JCC	CITY
2601	WAKAYAMA
2602	SHINGU
2603	KAINAN
2604	TANABE
2605	GOBOU
2606	HASIMOTO
2607	ARIDA

JCG	GUN
26001	ARIDA
26002	ITO
26003	KAISOU
26004	NAGA
26005	NISIMURO
26006	HIGASIMURO
26007	HIDAKA



支部大会・ハムの集いのご案内

J A R L 和歌山県支部

本年度は8 J 3 H A M ・ J A 3 R L と 2 局の特別局の運用と協力いただいた方がありがとうございました。

J A R L 機構改革後の和歌山県支部・ハムの集いです、今までの支部と変わることなく活動を続けて行きたいと思っています。

日 時 平成15年2月16日(日)

10:00ハムの集い 13:00支部大会

場 所 和歌山ビッグ愛 9F

和歌山市手平2-1-2

平成14年度 J A R L 和歌山県支部大会

- (1) 開会の辞
- (2) 支部長挨拶
- (3) 来賓挨拶
- (4) 平成13年度行事報告・同決算報告
- (5) 平成14年度中間報告
- (6) 平成15年度行事計画・同予算説明
- (7) 評議員現状報告
- (8) 監査指導委員長現状報告
- (9) 第14回和歌山コンテスト入賞者紹介
- (10) 和歌山アワード発行状況報告
- (11) 非常通信訓練結果報告
- (12) 意見交換 その他
- (13) 閉会の辞

ご 挨拶

日本アマチュア無線連盟

和歌山県支部

支部長 JH3EZV 勝本 健

新しい年を迎えて皆様方には益々お元気でご活躍のことと存じます。

また、日頃から和歌山県支部や関西地方本部が開催する色々な活動に対し、ご理解・ご支援・ご協力を賜わり、心から厚くお礼申し上げます。

昨年度の組織改正に伴い本年度からは支部大会が無くなり、各地方本部毎に大会を開催することになって関西地方でも大阪・池田市で関西地方本部大会を開催しました。

しかし、和歌山県支部としては大会での審議や決議事項は無くなったと謂えども『ハムの集い』と言う形で会員全体の会合は今後も継続して行く考えです。

さて、例年のことですが過ぎ去ったこの1年間を振り返ると、この地球上では明るいニュースと暗いニュースが様々な形で交錯しました。

とりわけ私達が趣味としているアマチュア無線と大分類では同じ科学の分野から、日本人2名がノーベル賞を受賞するという輝かしい歴史の1ページを刻みました。

これは私達のアマチュア無線も1歩間違えばノーベル賞になるかも知れません。 Hi！

一方、JARL では創立75周年/アマチュア無線再開50周年記念として、記念式典・記念表彰・記念局運用などを、また日韓合同開催のFIFAワールドカップ・サッカーでは特別記念局の運用など様々な行事が全国各地で繰り広げられました。

更に、関西地方本部では日本で初めてのアマチュア無線免許を所有しない小・中学生によるARISSプロジェクトを成功させて、大阪・池田市を一際より明るく輝かせました。

しかし JARL 会員の減少は止まるところを知らず、また会費前納会員(永久会員)制度も根本的に解決していないので再燃は避けられないでしょう。

他にも諸問題の多い JARL ですが、過去に見るアマチュア無線の世界は必ず関西の先人達を中心になって発起・発展・改革などを成し遂げて来ているのです。

このような時期において何事も評論家気取りで批判するのは簡単ですが、英知を出して失敗を恐れずに前進を試みるのは至難な技ですが、これらの難問を皆さんと一緒に考え一致協力して取り組んで行きたいと思っています。

どうか皆様方のお力添えをよろしくお願いすると共に、益々のご活躍をお祈りします。

J A R L 和歌山県支部ハムの集いに寄せて

J A R L 関西地方本部長
J A 3 H X J 長谷川 良彦

鳴りもの入りで迎えた21世紀も時間は確実に刻み続け、早いもので2003年を迎えました。恒例となった年頭初の関西地方本部管内の支部行事である「J A R L 和歌山県支部大会・ハムの集い」にご挨拶をさせていただく機会に恵まれ嬉しく思います。

貴重な出会いの場で何か目新しい夢のあるお話をしたいと思っておりますが、近年厳しい環境変化の強調ばかりで、必ずしもご期待に沿える話題をお伝えできなかったのではないかと反省しております。J A R L 全体としては今なお財政面的な最重要課題の処理を見ずまだ多くの難問が待ち受けています。そのなかで私たちの基盤である関西を振り返ってみると、おかげさまで比較的活気ある活動が行われてきたのではないかと思います。

恒例の関ハムや、これに付随して実行した法改正後初の子どもたちと国際宇宙ステーションとの無線通信、昨年騒然としたアマチュアの一大事P L C (電力線搬送システム)問題にいち早く対応し日本で初の実験結果を得て、その後の活動の原点を作り総務省ヒアリングを重ねた結果その凍結を勝ち取ったことなどが思い出されます。

また、これら活動の原点となった関西地方本部K D C F から始めたすっかりお馴染みになったコールサインでメール転送を行う jarl.com のサービスが来年度からT S S サーバに移管され全ての業務が東京に移されることになりました。今まで裏方としてサポートを続けてきた6名で構成する関西ボランティアメンバーの手を離れて巣鴨に移管されるわけですが、今後の発展を祈るものです。

このメール転送は思い越せば、その当時「今ある材料でアマチュアとして今出来ること・・・」を合言葉に発足させたものですが、この事業が15000人のJ A R L 会員に支持され発展した事実は大変嬉しいことでもありました。何よりも費用をかけずに(人的なご迷惑は計り知れないものがありました・・・)そのビジョンに沿ってJ A R L 運営に寄与できたことは最大の喜びです。

関西のアマチュア無線のデジタル化活動は今後も「Q S O Bank」や「E-QSO」などを織り込みながら固定化することなく幅広くその活動基盤を広げて行きたいと思っています。

また、来年2004年のJ A R L 総会が10年ぶりに関西で開催されます。神戸総会から10年、再び大阪の地であらゆる意味で過去に無い記念すべきJ A R L 総会となると思われま

す。今後も何かと行事がめじろ押しですが今後も皆様のお力添えを頂き元気なアマチュア無線活動を実践する関西を合言葉に努力を重ねて参りたいと思っております。

アマチュア無線を通じて知り合った仲間が手をつないだその原動力の結晶がここにあるという思いを新たに、今年一年ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

ご 挨 拶

(社) 日本アマチュア無線連盟

監 事 後 藤 太 栄

－ J H 3 G A H －

* アマチュア無線界に新しい思想を！

昨年支部報のご挨拶に「アマチュア無線こそ平和の象徴である」というような意味のことを書かせて頂きました。

昨年暮れからイラクと北朝鮮を巡る緊張が高まっています。北朝鮮から運用していたロシアのアマチュア無線家の電波も12月に止まってしまいました。アマチュア無線は平和の象徴であるということを実証する事例がまた増えたこととなります。

翻って我が国の状況はどうでしょうか？

弾圧や戦争の危機の中にはないはずなのにアマチュア無線を楽しむ人が相変わらず減少しています。

理由は様々あるかと思いますが、私は真のハムの楽しさを理解して頂く機会が少なくなったのだと考えています。

それは決して我々ハムがPRをサボっていたというわけではなく、趣味として向き合う興味の対象や選択肢が極端に増えた結果だと思っています。

このことを逆に捉えれば楽しさを伝える手段を変えれば仲間を増やすことができるということだと言えます。

「無理に無線の世界に誘わなくても・・・」と言われるOM諸氏も居られようかと思いますが、アマチュア無線は相手がいなくては絶対に成立しません。やはり仲間はある程度多い方がいいと思います。

ハムの創生期から関西は新しいことを始めるのが上手なエリアです。数年前から始まった”E-mail 転送サービス”も関西地方本部の委員会の実験から始まり定着しました。

そして確実に市民権を得つつある”QSObank”も同じ委員会によって運営されています。

今、確かにアマチュア無線を表現する手段が新たに生まれつつあります。

我々は新しい思想や技術を否定することなく、自分の世界に取り込んでいくことこそが、新たな仲間に対する最大のPRだと思います。

今後とも一緒に新しい”遊び”を探しながら一生の趣味としてのハムを楽しもうではありませんか！

アマチュアガイダンス [3] 運用紀行

和歌山県監査指導委員長
J E 3 G O N 池 上 賢

J A R L の広報局である「アマチュアガイダンス 3」を、和歌山県内で 1 0 月 5 日より 3 1 日の期間運用を行った。県内での運用は久しぶりでしたが、最近では呼出符号の不送出が非常に多く、ガイダンスの運用が電波法遵守の必要性を P R でき、その「効果」が期待でき監査指導の業務として唯一の方法ではないかと考えています。

呼出符号の送出の無い局に対しては、

こちらは特別業務の局アマチュアガイダンス 3 です。
コールサインの送出は法令で義務づけられています。
コールサインは省略せず、わかりやすく、正確に送出して下さい。

業務通信と見受けられるとき、

こちらは特別業務の局アマチュアガイダンス 3 です。
この周波数はアマチュア無線局が運用する周波数です。
仕事などに関する通信はやめて下さい。

F M での運用逸脱

こちらは特別業務の局アマチュアガイダンス 3 です。
この周波数での F M での運用は法令に違反しています。
周波数使用区分を守って運用して下さい。

等、7 項目のメッセージを繰返し送出できるようになっている。

ガイダンスのメッセージを送出後早々に交信を停止する局。

非常に反感情的な言葉を返す局。

無視をしてそのまま交信を続ける局と様々である。

ガイダンスの運用者にとっては、自分が悪い事をしているような錯覚にとらわれる。交信内容を確認しながら、この局にはメッセージの送出は必要か。？ 必要とすればどのメッセージを流すのが適当なのか、？ の判断をしながら設備に向かうのですが、挑発的な言葉に耐えられるのは 2 時間が限度、アマチュア無線を楽しい趣味として、！ 限られた周波数を有効に、！ 使っていくためにと考え直しては再度挑戦するのですが今度は短時間で挫折。

自分の行為を正当化しようとする不法局、違法局に、電波法の必要性を少しでも認識して頂きたくて挫折をしながらも奮起、奮闘しながらのガイダンスの運用、この次ぎ和歌山県に回ってきた時には、会員の皆さんは是非ご一緒して頂き、短時間で挫折しないように、励ましてやって下さいますようお願い致します。

平成13年度 支部費決算報告

平成13年4月1日～平成14年3月31日
JARL和歌山県支部

科 目	金 額	備 考
前 期 繰 越 高	¥278,750	
《 収 入 の 部 》		
支 部 費	¥357,000	
賞 典 収 入	¥2,500	
雑 収 入	¥0	
受 取 利 息	¥78	
合 計	¥359,578	
《 支 出 の 部 》		
支 部 大 会 費	¥115,496	
会 議 費	¥115,772	
催 物 費	¥189,015	
渉 外 費	¥0	
通 信 費	¥37,690	
交 通 費	¥0	
消 耗 品 費	¥2,079	
支 部 報 発 行 費	¥28,906	
事 務 印 刷 費	¥2,985	
コ ン テ ス ト 費	¥102,206	
賞 典 費	¥700	
非 常 通 信 費	¥7,695	
雑 費	¥920	
合 計	¥603,464	
次 期 繰 越 高	¥34,864	

平成14年度 支部費中間報告

平成14年4月1日～平成14年12月31日
JARL和歌山県支部

科 目	金 額	備 考
前 期 繰 越 高	¥34,864	
《 収 入 の 部 》		
支 部 費	¥357,000	
賞 典 収 入	¥0	
雑 収 入	¥60,000	
受 取 利 息	¥4	
合 計	¥417,004	
《 支 出 の 部 》		
支 部 大 会 費	¥0	
会 議 費	¥61,280	
催 物 費	¥108,485	
渉 外 費	¥0	
通 信 費	¥13,500	
交 通 費	¥0	
消 耗 品 費	¥0	
支 部 報 発 行 費	¥0	
事 務 印 刷 費	¥2,819	
コ ン テ ス ト 費	¥44,110	
賞 典 費	¥0	
非 常 通 信 費	¥11,600	
監 査 指 導 費	¥4,040	
雑 費	¥420	
合 計	¥246,254	
現 在 高	¥205,614	

平成13年度 支部事業報告

平成14年3月31日

		事業項目	
平成13年	4月	1日	第13回和歌山コンテスト
	5月	20日	役員会・クラブ代表者会議
	6月	～8月	登録クラブの更新フォローアップ
	7月	2日	JARL組織変更
	7月	11日	助成金の交付申請
	7月	14日	JARL非常通信ボランティア追加登録
	7月	28・29日	関西ハムの祭典
	7月	31日	和歌山地区非常通信協議会総会
	8月	2日	和歌山県防災安全研修会
	8月	26日	CW & DXミーティング
	9月	1日	和歌山県防災総合訓練
	9月	9日	非常通信訓練
	9月	16日	関西ARDF大会
	9月	25日	監査指導委員長の交替
	平成14年	11月	25日
11月		～12月	支部規程・クラブ内規・コンテスト規約の改正
12月		2日	関西年末ハムの集い
12月		2日	和歌山県防災ボランティアリーダー研修会
2月		17日	支部大会・ハムの集い
	3月	3日	役員会

平成14年度 支部事業中間報告

平成14年12月31日

		事業項目	
平成14年	4月	7日	第14回和歌山コンテスト
	4月	～5月	8J3HAMの和歌山県内移動運用(4/25～5/1)
	4月	～5月	役員の無線局免許状の実態調査・警告
	5月	26日	監査指導委員会
	5月	26日	運営委員会・クラブ代表者会議
	5月	～6月	ガイダンス局の無線従事者選任届
	6月	8・9日	関西地方本部大会・関西ハムの祭典
	6月	～7月	無線局免許状の公開実態調査・お知らせ
	7月	13日	助成金の交付申請
	7月	17日	JARL創立50周年アマ無線再開40周年の表彰者推薦
	8月	6日	和歌山県防災総合訓練第2回打合せ会議
	8月	10日	和歌山県非常通信経路計画の修正
	8月	18日	JARD養成課程事務の一部代行研修会
	8月	20日	和歌山県ボランティア研修会事前ミーティング
	8月	25日	CW & DXミーティング('70年代ハム社会を語り継ぐ)
	9月	5日	和歌山県防災安全研修会
	9月	8日	非常通信訓練
	9月	17日	和歌山県防災総合訓練第3回打合せ会議
	10月	5～31日	ガイダンス局の運用(10/5～31)
	10月	20日	和歌山県防災総合訓練
	10月	20・27日	養成課程講習会の開催
	11月	9～15日	JA3RLの和歌山県内移動運用(11/9～11/15)
	11月	24日	運営委員会・クラブ代表者会議
	12月	1日	関西年末ハムの集い
	12月	1日	和歌山県防災ボランティアリーダー研修会
	12月	17日	和歌山県通信ボランティア追加登録
	12月		コンテスト規約の改正
平成15年	2月	16日	支部ハムの集い
	3月	17日	運営委員会(予定)

平成15年度 支部事業計画

平成14年12月6日
JARL和歌山県支部

		事業項目	記 事
平成15年	4月 6日	第15回和歌山コンテスト	
	4月 5月	8J3HAM県内移動運用	
	6月 1日	支部運営委員会	
	6月 1日	登録クラブ代表者会議	
	6月14・15日	関西アマチュア無線フェスティバル	関西地方本部主催
	8月 31日	CW & DX ミーティング	
	9月 7日	第7回和歌山県非常通信訓練	
	9月 28日	和歌山県防災総合訓練	和歌山県主催(下津町)
	11月 30日	支部運営委員会	
	11月 30日	登録クラブ代表者会議	
	12月 7日	関西年末ハムの集い	
平成16年	2月 15日	和歌山県支部ハムの集い	関西地方本部主催
	3月 7日	支部運営委員会	

平成15年度 支部予算案

2002年12月6日
JARL和歌山県支部

《収入の部》	15年度予算(案)	14年度予算	前年比増・減
支 部 費	¥357,000	¥350,000	¥7,000
賞 典 収 入	¥5,000	¥5,000	¥0
雑 収 入	¥0	¥0	¥0
受 取 利 息	¥0	¥0	¥0
収 入 合 計	¥362,000	¥355,000	¥7,000

《支出の部》	15年度予算(案)	14年度予算	前年比増・減
支 部 大 会 費	¥0	¥0	¥0
会 議 費	¥90,000	¥90,000	¥0
催 物 費	¥150,000	¥150,000	¥0
渉 外 費	¥0	¥0	¥0
通 信 費	¥20,000	¥25,000	¥-5,000
交 通 費	¥0	¥0	¥0
消 耗 品 費	¥2,000	¥3,000	¥-1,000
支 部 報 発 行 費	¥28,000	¥28,000	¥0
事 務 印 刷 費	¥4,000	¥4,000	¥0
コ ン テ ス ト 費	¥45,000	¥45,000	¥0
賞 典 費	¥0	¥0	¥0
非 常 通 信 費	¥7,000	¥5,000	¥2,000
監 査 指 導 費	¥8,000	¥0	¥8,000
雑 費	¥8,000	¥5,000	¥3,000
支 出 合 計	¥362,000	¥355,000	¥7,000

【注】14年度支部費は13年度の98%で立案したが、結果的には13年度と同額支給されたので15年度も同額で立案した。

和歌山コンテスト規約

主 催：JARL 和歌山県支部
 日 時：原則として、毎年4月第1日曜日 9：00～21：00JST
 参 加 資 格：日本国内のアマチュア無線局および SWL
 部 門：N：和歌山県内の部 G：和歌山県外の部 SWL：SWL の部
 種目・コード・使用バンド：下記一覧表の通り。

★個人局の部	和歌山県内		和歌山県外	
	電信	電信電話	電信	電信電話
1. 9MHz シングルバンド	NC1. 9	-----	GC1. 9	-----
3. 5MHz シングルバンド	NC3. 5	NX3. 5	GC3. 5	GX3. 5
7MHz シングルバンド	NC7	NX7	GC7	GX7
14MHz シングルバンド	NC14	NX14	GC14	GX14
21MHz シングルバンド	NC21	NX21	GC21	GX21
28MHz シングルバンド	NC28	NX28	GC28	GX28
HF (1. 9～28MHz) マルチバンド	NCHF	NXHF	GCHF	GXHF
50MHz シングルバンド	NC50	NX50	GC50	GX50
144MHz シングルバンド	NC144	NX144	GC144	GX144
430MHz シングルバンド	NC430	NX430	GC430	GX430
1200MHz シングルバンド	NC1200	NX1200	GC1200	GX1200
V・UHF (50～1200MHz) マルチバンド	NCVU	NXVU	GCVU	GXVU
★社団局の部				
マルチバンド電信・電話	-----	NXMA	-----	GXMA
★SWL の部				
マルチバンド電信・電話	SWL (和歌山県内・外共通)			

周波数区分：JARL 主催コンテスト使用周波数帯を適用する。
 1. 9MHz 1200MHz はアマチュアバンド使用区分を準用する。
 呼出方法：県内局(電信) CQ WK TEST IN DE J*3***/3
 (電話) CQ 和歌山コンテストこちらは県内局 J*3***/3
 県外局(電信) CQ WK TEST DE J*7***/7
 (電話) CQ 和歌山コンテストこちらは J*7***/7
 交信相手局：県内局：国内全域
 県外局：和歌山県内局のみ
 コンテストナンバー：県内局：RS(T)+市・郡ナンバー
 県外局：RS(T)+都道府県支庁ナンバー

得点：1 交信を1点とする。 SWL は和歌山県内のみを1点とする。
但し、同一バンド内での重複はモードが異なっても得点としない。

マルチプレイヤー：県内局：各バンド毎に都道府県支庁(和歌山県を除く)および
和歌山県内の市郡を1マフとする。

県外局：各バンド毎に和歌山県内の市郡を1マフとする。

総得点：得点合計×マフ合計

提出書類：JARL コンテストおよびサリット、またはそれと同一と見なし得る様式とする。

書類提出期限：開催当該年の4月30日(消印有効)

書類提出先：〒641-8691 和歌山南郵便局私書箱1号

JARL 和歌山県支部コンテスト係

または E-Mail の場合は下記の2ヶ所へ同時送信のこと。

jh3ezv@ares.eonet.ne.jp & jf3nim@nnc.or.jp

問合せ先：上記に同じ。

賞状：各部門、種目別にエントリー数が5局以内は1位のみ。

6~10局は2位まで。 11局以上は3位まで賞状を発行する。

禁止事項等その他：p. - 10 -

* JARL コンテスト規約に準じる。

* エントリーは1局(1コールサイン)1種目とする。

* 和歌山県内局はマルチバンドで運用し、シングルバンドにエントリー出来る。

和歌山県内 JARL 登録クラブ構成メンバーは、提出書類に登録番号と登録クラブ名を記入すること。

* コンテスト結果が必要な方は SASE を同封すること。

なお、封筒の大きさは 120×235mm(長形3号)とし、¥80 切手を貼ること。

* 移動局に対しては、当該地に移動した事実を証明する公正な第三者の書類

などの提出を求める場合があるので、予め心得ておくこと。

* 副賞『和歌山県特産品』はエントリー数・得点などにより、県内の部・県外の部共に上位より
10個+特別賞1個(合計22個)とする。

* 電子ログで提出する場合のお願い!

電子ログは JARL Web に掲載の電子ログ作成ツール(最新版)に従うこと。

ウィルス対策上から原則として添付資料は受け付けない。

件名欄は『WK-TEST』、送信者欄は『氏名』または『コールサイン』を正しく名乗る。

(悪戯と紛らわしい送信者名は使用しないこと)

【補足説明】

当該地に移動した事実を証明する公正な第三者の書類とは??

具体的には宿泊先のパンフレット、宿泊料の領収書、道路通行料の領収書、駅のスタッフ、当該地近傍(ガリンスタブ、コンビニストア、一般商店など)で商品購入の領収書、現地で撮影した日付入りの写真等を考えています。

和歌山アワード規定

下記のように和歌山県内の市郡町村から各1枚のQSLカードを取得する。

1. Excellent 賞 : 50市町村
2. A賞 : 7市
3. B賞 : 7郡
4. C賞 : 36町
5. D賞 : 7村

- 特記 : シングルバンド・シングルモードのみ特記する。
- 申請方法 : JARL 制定のアワード申請書およびカードリストを使用し、手数料を添えて申請する。(申請者の自己申告のみで良く、証明者は必要としない)
また、和歌山コンテストにおいて当該市郡町村とQSOしたがそのQSLカードを取得出来ない場合、事実関係をコンテスト委員会が確認出来るものについては当該QSOを認めるので申請先へ問い合わせること。
但し、最近の5年以内に限る。(5年経過後はJARL文書管理規定で廃棄のため)
- 手数料 : 郵便小為替にて1賞のみは500円。
複数賞を同時に申請する場合は2賞目以降の1賞につき300円づゝ加算する。
- その他 : 市町村名の変更や増減が行なわれた場合は、それらの施行日を以って本規定も改定されたものとする。
- 申請先 : 〒641-8691 和歌山南郵便局私書箱1号
JARL 和歌山県支部アワード係
- 問合せ先 : 申請先に同じ (SASEに限る)
koji7@creamy.nax.ne.jp または jh3ezv@jarl.com
- 発行者 : JARL 和歌山県支部

『和歌山アワード規定』に述べている、現存する和歌山県内の市郡町村とは下記の通りです。

- 【市】 和歌山市 新宮市 海南市 田辺市 御坊市 橋本市 有田市
- 【町】 有田郡 : 広川町 湯浅町 金屋町 吉備町 清水町
伊都郡 : 九度山町 高野口町 かつらぎ町 高野町
海草郡 : 下津町 野上町 美里町
那賀郡 : 岩出町 貴志川町 打田町 粉河町 那賀町 桃山町
西牟婁郡 : 上富田町 串本町 白浜町 すさみ町 中辺路町 日置川町
東牟婁郡 : 古座町 熊野川町 古座川町 太地町 那智勝浦町 本宮町
日高郡 : 南部町 由良町 印南町 川辺町 日高町 美浜町
- 【村】 伊都郡 : 花園村
西牟婁郡 : 大塔村
東牟婁郡 : 北山村
日高郡 : 中津村 南部川村 美山村 龍神村

アワード発行状況

(平成14年1月1日～12月31日)

	No.	呼出符号	氏名	特記	発行日
EXCELLENT賞	46	JA3DFO	小林 嘉弘		21-Oct
A賞	163	7K3TFX	田熊 英治	7MHz-SSB	11-Jan
	164	JK8IQN	川村 英幸		3-Jun
	165	JE3OQG	山本 弘	144MHz-SSB	3-Jun
	166	JE3OQG	山本 弘	430MHz-SSB	3-Jun
	167	JM4LXA	土井 純義	144MHz-SSB	31-Jul
	168	JA6QVZ	濱川 清隆	7MHz-SSB	21-Oct
B賞	116	JQ1OKU	沼田 健一	7MHz-SSB	19-Apr
	117	JE3OQG	山本 弘	144MHz-SSB	3-Jun
	118	JE3OQG	山本 弘	430MHz-SSB	3-Jun
	119	JM4LXA	土井 純義	144MHz-SSB	31-Jul
	120	JA6QVZ	濱川 清隆	7MHz-SSB	21-Oct
C賞 / D賞			申請無し		

JARL和歌山県支部登録クラブ一覧表

(平成14年度)

平成14年5月26日現在

登録番号	クラブ名称	代表者	CALL
26-1- 1	はまゆうアマチュア無線クラブ	古久保恭一	JA3CHT
26-1- 2	有田アマチュア無線クラブ	岩崎好宏	JA3CF
26-1- 8	橋本市アマチュア無線クラブ	西川恵章	JR3AIP
26-1-12	ハム高野山クラブ	中尾 勲	JR3TPS
26-1-14	かつらぎアマチュア無線クラブ	池田憲昭	JJ3QCG
26-1-16	JARLハムクラブ新宮	中尾亨義	JQ3LQS
26-1-17	潮岬ハムクラブ	南部 清	JE3AIU
26-1-18	紀州路田辺ハムクラブ	鈴木博雄	JA3RPY
26-2- 2	桐蔭高校アマチュア無線クラブ	三栖康秀	JA3AZL
26-4- 1	和歌山葵クラブ	廣井五十二	JA3EQC
26-4- 3	オールデイ紀の國	前谷昌男	JF3IVR
26-4- 4	紀南ハムクラブ	立花 昇	JR3XKN
26-4- 6	和歌山クラブ	村井 亘	JA3BX
26-4-19	和歌山楽遊倶楽部	北原芳晃	JO3TIO
26-4-21	ARDFわかやまクラブ	臼井貞行	JR3RXM
26-4-22	和歌山2m SSB愛好会	田中将夫	JF3NIM
26-4-24	JASC-3和歌山	鍛治幸雄	JH3MRB
26-4-25	アマチュア無線南海クラブ	浅井章寛	JA3BFS

JARL和歌山県支部運営委員名簿（平成14年度）

平成14年5月26日現在

役職名	CALL	氏名	郵便番号	住所	電話番号
支部長 (総括)	JH3EZV	勝本 健	640-8482	和歌山市六十谷1353-14	073-461-3232
副支部長 (和歌山・教育・技術指導)	JA3EQC	廣井五十二	641-0036	和歌山市西浜1009-8	073-445-2889
運営委員 (海南・広報・会報 コンテスト)	JF3NIM	田中将夫	642-0001	海南市船尾237	073-482-3202
運営委員 (和歌山・企画・渉外)	JR3RXM	臼井貞行	640-8306	和歌山市出島121	073-471-2390
運営委員 (和歌山・非常通信)	JR3KUF	池上和彦	641-0062	和歌山市雑賀崎6-48	073-444-3080
運営委員 (和歌山・コンテスト)	JA3WRV	梅本教正	641-0045	和歌山市堀止西2-2-14	073-426-0118
運営委員 (和歌山)・監査指導委員	JA3DF0	小林嘉弘	641-0011	和歌山市三葛285-157	073-447-1009
運営委員 (伊都・ARDF)	JL30QV	大谷和信	648-0211	伊都郡高野町高野山507-2	0736-56-4604
運営委員 (海南)	JA3FXB	岡本圭司	642-0022	海南市大野中212	073-482-5429
運営委員 (海草・コンテスト)	JF3IVR	前谷昌男	640-1103	海草郡野上町吉野164	073-489-2079
運営委員 (有田・アワード)	JR3EQG	辻村光司	649-0301	有田市下中島48-3	0737-88-5332
運営委員 (有田・コンテスト)	JI3VYC	江川 裕之	649-0446	有田郡吉備町田口1300-1	0737-52-2052
運営委員 (御坊・日高)	JA3CHT	古久保恭一	644-0002	御坊市藪377-3	0738-22-6955
運営委員 (田辺・非常通信)	JH3SYB	田上茂樹	646-0031	田辺市湊1432	0739-25-1882
運営委員 (西牟婁・非常通信) 監査指導委員	JG3QEV	川崎紀久男	649-3632	西牟婁郡串本町須江1039-1	0735-65-0568
運営委員 (新宮・東牟婁)	JA3BPX	岡崎 悌	647-0071	新宮市佐野1730-13	0735-31-6221
相談役	JA3BL	笹井美秋	641-0012	和歌山市紀三井寺678	073-444-3896

JARL和歌山県監査指導委員名簿（平成14年度）

平成14年 5月26日現在

役職名	CALL	氏名	郵便番号	住所	電話番号
監査指導委員長	JE3GON	池上 賢	646-0003	田辺市中万呂471-1	0739-25-5650
監査指導委員	JN3UMJ	馬場洋一	649-2511	西牟婁郡日置川町日置2041-4	0739-52-3921
監査指導委員	JA3DF0	小林嘉弘	641-0011	和歌山市三葛285-157	073-447-1009
監査指導委員	JG3QEV	川崎紀久男	649-3632	西牟婁郡串本町須江1039-1	0735-65-0568
監査指導委員	JH3FKD	田和定通	640-1234	海草郡美里町安井126-2	073-495-2973
監査指導委員	JK3UWI	中川慎二	649-6531	那賀郡粉河町粉河2463-6	0736-73-6238
監査指導委員	JA3DFN	高田秀志	640-8413	和歌山市島橋東ノ丁13-7	073-451-9555
監査指導委員	JA3BY	加藤明利	640-8303	和歌山市鳴神68-4	073-475-4421
監査指導委員	JH3GAH	後藤太栄	648-0211	伊都郡高野町高野山154	0736-56-4724